

定例記者会見市長挨拶

令和3年2月17日（水）午後3時から 庁議室

記者の皆様には、お忙しいところ定例記者会見にご出席いただき、誠にありがとうございます。また、日ごろから市政に対しまして、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症については、緊急事態宣言が延長されるなど、引き続き予断を許さない状況が続いております。市では、感染症の発症や重症化のリスクを減らし、感染症の拡大を防ぐことが期待されている、新型コロナウイルスワクチンの接種に向けて「新型コロナウイルスワクチン対策室」を設置し、準備を進めております。ワクチンの接種につきましては、3月中旬以降に高齢者から順次接種券の送付、4月以降に特設会場での集団接種または医療機関での個別接種を予定しております。

なお、ワクチンの集団接種を市民の皆さまに安心・安全そして速やかに受けていただくために、ワクチン接種シミュレーションを3月4日木曜日、午後2時から市役所6階大会議室で開催します。今回のシミュレーションは、特に65歳以上の高齢者の方への接種を対象にしたものとし、接種にかかる時間や職員の配置などを確認し、万全の体制で本番の接種を迎えられるよう対応してまいります。

また、成田空港関連では、昨年における旅客数が前年比で76%減、国際線旅客数は開港した1978年を除き、過去最低となるなど、新型コロナウイルス感染症により大きな影響がありました。国際線が中心の成田空港は関連企業も含め、深刻な状況が続いています。

市としましては、ワクチン接種をはじめとする感染の拡大防止の取り組みに全力を注ぐとともに、地域経済の安定を図るための施策も一層推進し、市民

の皆さまが希望を持ち、そして安全、安心に暮らせる「まち」の実現を目指し、市政運営に全力で取り組んでまいります。

本年は、成田山奥之院の大日如来だいにちによらいの祭礼である成田祇園祭が300年を迎える記念すべき年であり、成田祇園祭の関連イベントによる記念行事を実施し、東京オリンピック・パラリンピック開催との相乗効果により、一層の観光客誘致につなげてまいります。そして、これらを契機として、市の更なる発展のため、成田空港を活用した観光施策をはじめ、吉倉地区周辺の新たなまちづくりや、卸売市場の移転再整備などに積極的に取り組んでまいります。また、将来のまちづくりと密接に関連する「成田空港の更なる機能強化」につきましても、騒音地域にお住まいの皆さまの生活環境の保全を図りつつ、その実現に向けて着実に取り組んでまいります。

さて、令和3年度の予算編成ですが、市税等の大幅な減収が見込まれたことから、財政調整基金をはじめとする各種基金をフル活用し、市民の皆さまの暮らし・健康を守るなど、市民サービスの維持・拡大を図ったところであります。

また、成田市総合計画「NARITAみらいプラン」に掲げた「住んでよし働いてよし訪れてよしの生涯を完結できる空の港まちなりた」の実現に向け、事業の選択と集中を行うことにより、限られた財源を重点的かつ効率的に配分し、「新型コロナウイルス感染症対策」「将来を見据えたまちづくり」「市民サービスの更なる向上」を3本柱として、一般会計では、対前年度比2.5パーセント減の612億円、水道事業会計等を含む特別会計を加えた全体では、2.9パーセント減の約929億円の予算を編成いたしました。

それでは、2月19日に開会いたします、3月議会に提案を予定しております案件でございますが、人事案件6件、条例案件15件、市道路線の認定案件1件、専決処分の承認案件1件、補正予算案件8件、当初予算案件9件の、合わせて40件と報告9件でございます。

詳細につきましては、この後「総務部長」並びに「財政部長」よりご説明いたしますので、よろしくお願いいたします。

以上、本日の定例記者会見にあたっての挨拶とさせていただきます。